

大成ロテック

西田 義則社長



17年を振り返って

主要セネコンの第2・

四半期決算で各社とも
最高益を更新するなど、
業界全体は堅調に推移
した。当社でも、業績面

では売上高や受注高は
前期を上回った。しかし
その一方で、競争が激化
していることに加え、ア
スファルトをはじめと
する原材料価格の値上
げなどが影響し、利益面
では厳しい状況となっ
た。

18年の事業環境

20年の東京五輪・パラ
リンピックをキーワード
に、需要が多い状態が続
くと予想している。しか

名実ともに業界トップ目指す

し、合材関係の原材料の
値上げで、「仕事は多い
が利益的には厳しい年」
が続くだろう。18年は、
3か年の新中期経営計画
技術開発の方向性

についても、生産性革命と
併せて進め、会社を成長
させていきたい。今年
勝負の年になる。

ト(PCA)活用を含め
た技術・製品開発に力を
注ぐ。工事測量ガイド
システム「側構ナビ3
D」をはじめとする生産
効率の高い技術の水平展
開も推進していく。

の初年度となる年。コン

ICT舗装はもちろ

ん、当社独自の技術やI

プライアンス体制の徹底
はもちろん、新規事業を
含め経営力の強化に注力
していく。働き方改革に

OT(モノのインターネ
ット)技術、現場の省力
化につながるプレキヤス

今後のかじ取り
担い手の確保に向け、
労働環境の整備や新卒・

中途採用にも力をいれ
る。海外拠点も徐々に増
えてきており、今後の海
外事業を視野に入れた外
国人の採用も積極的に進
めていきたい。まずは、
働き方改革の実現や生産
性の向上、収益の確保な
ど取り組むべきことをし
っかりとやっていく。長
期展望として、「名実と
もに業界トップ」を目指
したい。